



CHARTERED SEPT. 11. 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017 - 18 会長主題

共に行動 共に喜びを

あずさ部長	大野貞次 (東京西)	「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東日本区理事	栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	“ Let Us Walk in the Light—Together ” 「ともに、光の中を歩もう」

会長 上妻英夫 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 浅羽俊一郎 / 会計 中村孝誠
 直前会長 金本伸二郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2018年 6月例会

< 評価の月 >

とき 6月19日(火) 18:30-20:30
 ところ 山手センター 101号室
 受付 飯島愛子さん、功能さん
 司会 中村さん
 開会点鐘・挨拶 上妻会長
 ワイズソング・モットー 一同
 聖句朗読・祈祷 尾内さん
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 < 会食 > 一同
 ハッピーバースデー
 < 今期を振り返り、次年度へ向けて >
 上妻会長、浅羽次期会長 挨拶
 会長交代式
 ニコニコ 一同
 報告・連絡事項 各担当
 閉会点鐘 会長
 当番 (第1班) 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

コリントの信徒への手紙 I 12 章 26 節

5月報告

会員在籍数		14名
例会出席者	メ ン	10名
	メ ネット	1名
会員出席率		71%
ゲスト・ビジター		10名
		合計 21名
ニコニコ	8,669円 (累計 65,902円)	
B F 国内切手	-g	外国切手 -g

6月 HAPPY BIRTHDAY

上妻清子さん 8日 尾内昌吉さん 14日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



5月例会 報告

15日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席者：上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、飯野

尾内、尾内(規)、星住 8名

メネット：上妻清子さん 1名

ゲスト・ビジター：

堰楽香織さん(本郷学園元講師)

新井克巳さん(東京YMCA会員)

福島多恵子さん(元東京目黒 メネット)

福島宣子さん

菰刈光彦さん(部会員増強主査

東京サンライズ)

柳原みづきさん(東京YMCA職員)

本川悦子さん(東京西 会長)

篠原文恵さん(東京西 書記)

小口多津子さん(東京八王子)

小原史奈子さん(東京たんぽぽ 会長)

10名

合計 19名

司会 尾内さん

浅羽俊一郎メン(次期会長)は自己紹介から初めて、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)で難民支援事業に携わっていた時の経験を話されました。浅羽さんは大学卒業後9年間東京YMCAに勤務し、その後23年間UNHCRで難民支援の仕事に従事されました。



以下は卓話の要旨です。

1、9年間の東京YMCA勤務ではいろいろな人達と関わり、人間に関心を持ち、人に歩み寄る必要を学び、そのことはそのことが困難な難民支援に役にたった。

2、国際協力には開発援助と人道支援があり、開発途上国の人々の生活改善は開発援助で、難民支援や被災者支援は人道支援である。開発援助は安定した環境で計画的に行われるが、人道支援は自力では生きられない人たち、外からの援助なしでは生きられない人々への援助で、流動的で不安定な環境の中で急いで実施しなければならない支援である。

3、浅羽さん自身が関わって印象に残ったチェチェン避難民について話された。1994年暮れにチェチェン共和国の分離独立運動をロシア連邦が弾圧し、多くの人たちが隣国のダゲスタンやイングースに避難民として流出し、UNHCRは緊急支援チ

ームを送って対応した。緊急支援チームは緊急支援体制を強化するために作られた制度で、世界各国から応募した支援の専門家が十数名でチームを組んで現地に入り活動する。



ダゲスタン緊急支援チームの仲間たちと

4、浅羽さんはこの支援チームの一員としてその活動をスライドを用いて話された、その中で、他の機関や団体と協力して活動することの難しさ、チーム作りや現場と本部の信頼関係の大切さを経験を通して学んだ事。一人一人がチームの構成員であることを自覚し、自己管理の努力が必要であり、これはどんな職場でも大切であること等を話された。

この後、日本の難民認定は極端に少ないこと、日本が難民受け入れの体制作りが遅れているが、市民が動き出す必要などについて意見交換があった。(まとめ・飯島)

.....

<5月例会 ニコニコ元気カードから>

私は今日このことで元気です。

新井克巳さん 安全・安心の観点から人道支援を深く考えました。

小原史奈子さん 人道支援、難民についてわかりやすく話していただき有難うございました。

小口多津子さん 浅羽さんの貴重な人道支援のお話、体験ありがとうございました。

菰渕光彦さん 情報社会とボランティアの放送大学講義を勉強中です。

篠原文恵さん 歩くことより自転車を勧められ、毎日ペダルをこいでいます。

浅羽俊一郎さん 卓話大変でした。

上妻英夫さん 今日の例会大勢の方々とお会いできて元気百倍です。

上妻清子さん 浅羽さま難民支援活動ご苦労様でございます。大変なお仕事をなされていることを知りました。

飯島愛子さん 生後5ヵ月になる子犬を飼いました。散歩が楽しみです。

飯野毅与志さん 浅羽さんの難民のお話を聞いて、これから日本もきちんと難民のことについて考えていくことが必要だと思いました。

尾内昌吉さん 5月12日のあずさ部評議会と富士五湖クラブ15周年記念例会に出席、雄大な富士山を間近に見て元気をもらいました。

おたより(5月)

<上妻英夫さん>「故郷(くに)の朝 雉の高鳴き眼をさます」5月連休毎朝、あとは日中も鳴き続けるのです。そして萌ゆる若葉。

<福島多恵子さん> ご丁寧なご案内ありがとうございました。よろこんで出席させていただきます。

ヨルダン会 報告(5月)

日時: 5月23日 14:30~16:00

場所: 華屋与兵衛

出席: 浅羽、上妻、尾内、功能、中村、議事

- 6月例会
新旧会長引継ぎ式
立ち合い人を飯島さんをお願いする。
- 次期山手クラブの会員名簿を確認
- 高田馬場地域でマンマー人の子供たちの学習指導を行っている学生の支援について協議した。学生が会長で教室の室料は女性店主が支援しているとのこと。
- クラブロッカーの整理
ヨルダン会後に山手センターの地下室に行き、ロッカーの資料等を点検した。
- 9月例会について
廣瀬健次期部長からの要請で9月例会は山手クラブとたんぼぼクラブの合同例会として、そこに部長公式訪問を設定することとした。9月18日(火)18:30から、会場は東京YMCA集会室。
- 会員芸術祭の受付当番
5月24日12:30~15:00が山手クラブの当番で、飯島愛子さんをお願いした。
- 在京会長会 5月26日午前中に東京Y会員大会に先立って開催される。浅羽が出席。

(以上)



第3回あずさ部「富士の国」評議会

に参加して

浅羽俊一郎

5月12日(土)立川駅8時43分発の快速富士山号で富士吉田市へ。途中車窓から望む霊峰富士の雄姿は格別だった。

魚吉会館2階の広間で11時開会。議決権者38名と委任状6名の44名で評議会が成立。大野部長は挨拶で部の現勢が176名であることを報告し、引き続き会員増強を要請。議事に移り、廣瀬次期部長が「未来はそれに備える人のものである」を主題にクラブの日々の活動の積み重ねの大切さを訴えた(承認)。予算(資料)は一部訂正*の必要が指摘され、7月の第1回評議会にて訂正案を再提出することになった(承認)。ついで部長、事業主査、クラブ会長からの活動中間報告があり、IYC参加ユースをスポンサーする八王子クラブへ部の補助金が贈呈される。部歌斉唱。閉会。集合写真。

襖を取り払うと大広間は**富士五湖クラブ15周年記念例会**の会場に早変わり。決められたテーブルに着いて他クラブメンバーたちと談笑。原淑子会長の挨拶と原俊彦メンから京都洛中クラブとDBC締結の経緯報告。2部祝会では甲府クラブ(スポンサークラブ)の丹後佳代メンの祝辞、宮内次期理事の乾杯。スライドで15年間のクラブの歩みが紹介される。メインアトラクションは望月メン司会で「お楽しみ抽選会」。まず図柄が全部異なるデザイン小石(原メン作)が出席者全員に配られ、壇上で袋から取り出された図柄と同じ小石を持つメンが賞品をもらう。盛り上がる。はずれたメンも小石はいい思い出の品。集まった寄付金は山梨YMCA建設基金へ。最後は「燃えろよワイズ」斉唱で閉会。

散会后、大野部長に大月駅まで送ってもらい、在来線で帰る。長い1日ではあったが、多くを学び仲間もまた増えた。(山手クラブからは上妻、尾内、中村と私の4名が出席。)

*4月の区役員会にて区から部への補助金は10万円と部員一人当たり300円(昨年度は500円)が決定。

.....

会員大会に出席しました



5月26日、東京Yの会員大会に出席してきました。朝の在京ワイズ会長会で疲れましたが会員大会ではユースも大勢来ていて賑やかな雰囲気はよかったです。出席していた山手学舎生が挨拶に来てくれました。(写真)

なお、越智京子さんが名誉会員に選ばれました。(浅羽)

.....

編集雑記

5月に白内障の手術を受けました。はっきり見えるようにはなりましたが、固定焦点に変わったため文字を読むのがつらくて、ブリテンの編集になかなかとりかかれませんでした。やむなく古い眼鏡を引っ張り出して使ってみたところうまい具合に見えたので編集に取り掛かった次第です。F. K





東日本区大会 報告

浅羽俊一郎

区大会。いくつか思い出すままに。

2日) 代議員会は特に協議することもなく全て承認されました。次次期理事は十勝クラブの山田敏明メン。次期の次次期理事は未定。

区大会は過去最高の事前登録者477名。実際は480名を超えたとも。

オープニングの高校生による和太鼓。尾内規子メンは大好きだそうですが、私は腹が底から揺すられて、しばし席を外しました。苦手です。

盛大なバナーセレモニーにバナーを忘れた会長もおられ、数年前の私を思い出しました。主賓挨拶では新市長の頼重秀一氏が沼津をアピール。

メモリアルアワーは懐かしい友の顔写真が変わるたびに会場のあちこちでため息聞かれました。

奈良傳賞は千葉クラブの倉石昇と持田二郎の両氏へ。私の千葉Y勤務時代から同じトレードマークのシャッポの倉石メンと親しく挨拶できました。

震災支援では石巻広域クラブの清水メンがビデオで報告し、7年前の震災とその後の地元の苦労を語りました。

特別講演。岩崎恭子さんはバルセロナ五輪の200メートル競泳で金メダル。中学生でした。それからの苦労と立ち直りについて分かりやすく語り、今自分が大切にしている指針は1) 相手の幸せを思うこと、2) 素直に聞くこと3) 泳縁(泳ぎで得た縁を大切にすると。今は40歳になる子育て中のママです。

豪華な晩餐会では部対抗の出し物。我があずさ部は「あずさの道」多くのメン・メネットが登壇し、頑張って歌ってくれましたが、伴奏役の私が大失態を犯してしまい、後の祭り。詳しくはほかのひとに聞いてください。

食事中、小原メンが **JEF 募金**への協力を呼びかけました。これは3月に亡くなられた村杉メンが担当されていた事業。(翌日の発表は235,000円)

3日) 聖日礼拝は沼津教会の宮本牧師が「信仰とは内面が変化すること」と。

諸報告に続いて**理事・役員の引き継ぎ**。宮内理事の誕生です。サーバント・リーダーが新理事の鍵語です。

大会期間中、物品販売は大会会場隣で。多摩みなみクラブが活動で収穫した玉ねぎを1時間で完売。知らないうちに多くの知己を得ていますが、暫く振りにお会いしたのが沖縄那覇クラブの屋良政旦メン。今はフェイスブックで繋がっています。

また、カナダからBFで来られたロビンソン氏夫妻とは2度でしたが立ち話することができました。とても楽しまれていました。

それにしても「ぬまず食わず」にご尽力された**沼津クラブに感謝**します。素晴らしいアンサンブルワークだと思いました。



東京山手の参加者



紹介されました

1. 熊本YMCAは、熊本大地震復興支援募金期間を1年延長し、2019年4月30日までとすることを決めました。

募金目標額は、被災コミュニティの緊急支援、及び熊本YMCAの活動による復興支援活動のために2億円です。

復興は進んでいるものの、いまだに3万8千人もの方々が仮設住宅などでの生活を余儀なくされているそうです。再建の目途の立たない方も多数いることから、引き続き全国YMCAが協力し、継続的な復興支援を行っていくことになりました。

2. 1月から進めていた東陽町センターの改修工事が完了しました。

1階正面に東陽町コミュニティセンターの事務所が新設されたほか、各種イベントが開催できるYMCAホールが設置されるなど、仕様が大きく変わりました。また各所にブランディングのロゴやモチーフを内装に使用し明るい雰囲気になりました。7月より山手会館の耐震補修工事もいよいよ開始されます。皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

3. 夏休みのキャンプ・スクールの受付が、2018年6月8日（金）10時からスタートします。

※「本会員」の先行予約は2018年6月6日（水）10時から承ります。

山や海、湖でのサマーキャンプ、英語、工作など、今夏も多数のプログラムをご用意しています。素晴らしい夏休みになるよう、スタッフ・ボランティアリーダー一同、楽しい企画を準備して、みなさまのご参加をお待ちしています！ぜひご紹介ください。

(星住秀一)

NHKテキスト「きょうの健康」誌6月号の112ページと113ページの間にPR記事のページが挟まれています。その2、3ページ目の下段「今月の8020さん」という欄に上妻英夫さんが、「年齢：87歳 歯の数：25本」として紹介されています。メネットの手作り料理のこと、タオルのお仕事のこと、そして東京山手ワイズメンズクラブ会長として活躍のことも紹介されています。その記事のコピーを載せましたので、拡大してご覧ください。

